

天ぷら油でコンゴを救おう！！

背景

日本とアフリカの**医療格差**

- ワクチンなら、私達でも協力できそう！
- はしかの感染が多いのはコンゴ
- コンゴにはしかのワクチン**を届けよう！



研究内容

- リサイクル資源を回収
- 回収した資源を売る
- 費用を回収 (PETキャップと同じ方法)
- 十分な量のワクチン**を届けられる？

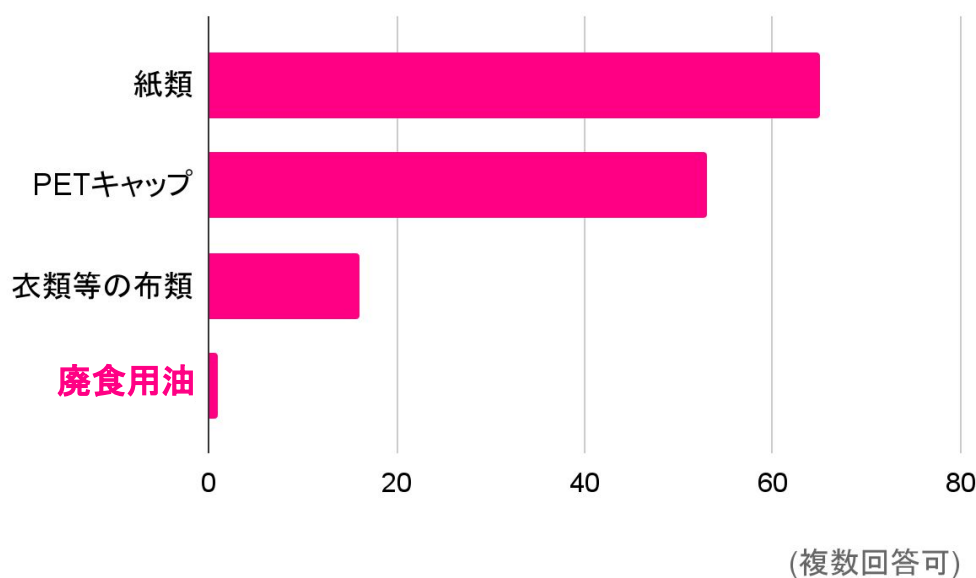


調査①

リサイクルと麻疹についてのアンケート
対象者：10代～70代の男女97名

結果①

○実際にリサイクルしたものは何ですか？



- 廃食用油**のリサイクル量が**少ない**
- 廃食用油を対象にすれば、**より多くの費用**を集められる？

結果②

- ・廃食用油**1Lあたり2円**で売れる
- ・**一週間にスーパーで1800L**回収できる
- ・**3000円で98回分**のはしかワクチン製造できる

廃食用油 **1500L**で麻疹ワクチン**98回分**
一週間で**1800L**回収される

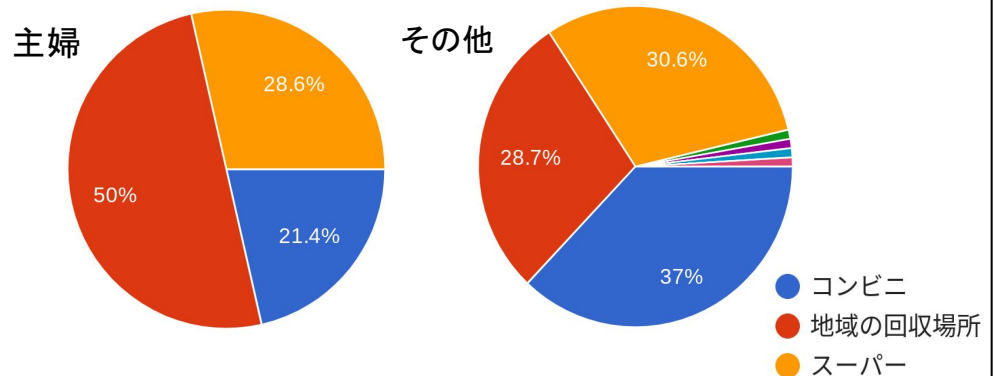


一週間に117.6回分のワクチンを作れる



調査③ 油回収についてのアンケート

廃食用油の回収に協力するなら、どこが便利ですか？



考察

廃食用油をリサイクルして得たお金をワクチン製造に当てることで、アフリカの子どもたちに送るワクチンの量を増やすことができることが分かった。

まとめ

リサイクル方法を工夫することで、医療格差の問題解決に貢献できることが2年間の探究でわかった。未来は永久に！

参考文献

<https://www.mags.or.no/news/detail/headline/cod20210412nt.html> (最終閲覧日：2021年5月)

www.re-lifestyle.com/recycle/vaccine/ (最終閲覧日：2021年5月)

<http://hozinkai.zenokuhojinkai.or.jp/ichinomiya> (最終閲覧日：2021年6月)

<https://www.city.inane.mie.no/curashi/resycle/gomi/1000744/1000756.html> (最終閲覧日：2021年7月)